

1. 意見

子どもたちが自然観察や野外活動ができる川辺の環境を整備してほしい。たとえば、市街地の近くでコンクリートの護岸がされていない川岸が50mは鏡くぼくぼくになるが有れば。川と遊ぶ。また、川を促した体験活動とすると、川底が浅い平均に1mほど、深みに50cmの深さ中3mの水深がある水路が川底にあると、川が1m、これは水性昆虫や魚にもよく観察がしやすい。